

少子化が進む現在、全国の大学は大学教育の抱える問題の改革・改善を迫られている。国（文部科学省）においても様々な規制緩和を行い、各大学の個性化・特色化を促す方針を打ち出している。財政的には一律的に配賦される補助金を圧縮する一方で、各種 GP 事業や特別補助金など、いわゆる競争的補助金を拡充し、競争的環境づくりを推進している。

本学では、これを本学独自の教育方法等を見直したり、全国的な評価を確認するための絶好の機会と捉え、当初から積極的に申請を行っている。昨年度より総務課には外部資金担当を置き、情報を早期に取得し、戦略的に申請できるよう体制を整えた。昨年度の申請では「新たな社会的ニーズに対応した学生支援プログラム（学生支援 GP）」において、学部・短大がダブル選定される結果となった。

今年も「大学教育・学生支援推進事業【テーマ A】（申請上限：大学別に3件まで）」に学部2件、短大1件の計3件、「同【テーマ B】（申請上限：大学別に1件まで）」に学部から1件、「大学教育充実のための戦略的大学連携支援事業（申請上限：大学別に2件まで）」に学部から1件、また飯田女子短期大学が主幹校となった申請に学部・短大ともに連名して申請した。また、福祉についても学べる観光ホスピタリティ学科の特性を活かし、長野県が公募した「潜在的有資格者等養成支援事業」にも4つのプログラムを編成して応募した。

目次

1. 大学教育・学生支援推進事業【テーマ A】（学部2件、短大部1件）
 - 食の課題解決に向けた質の高い学士の育成
 - －地域の食に関する課題解決への意欲と実践的能力を有する食の専門家の育成－
 - 地域の健康づくりを担うに足る学士力の育成
 - －スポーツ振興・運動指導の人材育成と地域活性化－
 - メモ力育成を核とした単位制度実質化の取組
2. 大学教育・学生支援推進事業【テーマ B】（学部1件）
 - 大学全体が取り組む就職活動の支援を目指して
3. 大学教育充実のための戦略的大学連携支援プログラム
 - 地域づくりの人材養成に向けた遠隔地間大学連携
 - －経験を活かしあう先進モデル構築
4. 潜在的有資格者等養成支援事業
 - 潜在的有資格者再就業支援研修
 - 障害者就労支援研修
 - キャリアアップ支援研修
 - 福祉・介護サービスチャレンジ教室